

島のひろば

第706号

「島のひろば」編集委員会電話 04992-2-8256

くらしの相談は共産党町議団へ

小池2-9318 山田2-3670

酒井090-4545-0032

戦後81年目の夏

真の平和を

つくり出すために

恥ずかしい

これが日本の防衛大臣!!

7月22日、小泉防衛大臣は外国人記者団の前に「核保有についてあらゆるタフになく議論すべき」と語りました。現職の防衛大臣が、米軍の核持ち込み公然化を狙い、「国是」と位置付ける「非核三原則」見直しを含む核議論を喚起することは、閣僚としての資質が問われる事態です。

抑止力強化で平和？

今、世界のあちこちで戦争・紛争が続く中、高市内閣は総選挙で得た「数の力」で前のめりに戦争の準備に突き進んでいます。

日本被団協の濱住事務局長は、「81年前に日本で起きたことや、被爆者がいかに苦しんできたか、そして今も世界に核被爆者がいることを無視して、核ありきで話を進めようとしていることに怖さを感じる。」

「らない」と、怒りの談話を出しました。しかし高市首相は広島でも長崎でも「日本は非核三原則を堅持している」とだけ述べ「今後も堅持していく」とは言いませんでした

力」について「自衛隊の抑止力」ではなく「日米同盟の抑止力」と呼んでいます。米国がイラン攻撃のような先制攻撃戦争に乗り出した時、米国の指揮統制下に置かれた自衛隊も無法な先制攻撃に参加する仕組みを作ります。ここに「日米同盟の抑止力の強化」と言われていることの危険性があります。

大軍拡で暮らさねば

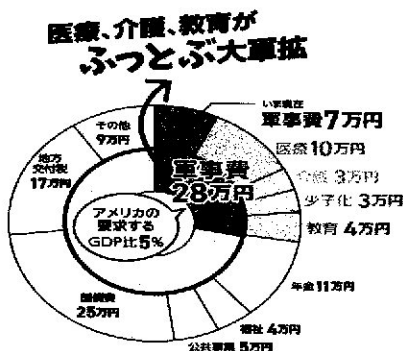
どうなる？

緊張をまわし、戦争の危険をむしる高めるものです。

「抑止力強化」の名目でやられている大軍拡と暮らさねば立しません。

トランプ米政権は同盟国に「GDP比3・5%の軍事費、関連経費を含めて最大5%を求めている。これを受け入れれば赤字国債の発行、戦時中のような増税を国民に強いることとなります。(左図参照)

「国民1人あたり」の国の予算 (2026年度)



共産党辰巳孝太郎議員への質問回答をもとに赤旗日曜版編集部作成の資料

抑止力では平和はつくれな

軍事的抑止力の強化の先に、本当に平和は来るのでしょうか。答えはもちろんノーです。

そもそも「抑止力」とは米軍の定義でも「恐怖によって行動を阻止すること」です。その「最たる恐怖」が核による脅しです。「抑止力強化」の道を進めば互いに核兵器に頼ることになります。

世界では「核による抑止」という考えを乗り越える新しい

戦争・排除ではなく、対話・包摂で平和をつくる——これこそが日本と世界の平和への道だということを、戦後81年を迎えたこの夏、日本共産党は、みなさんに心から訴えます。

東海汽船に不適切事案

国交省が業務停止も検討中

共産党 都・国へ要望書提出

私たち島民のいのち綱とも言うべき東海汽船で「不適切事案」が発生し、国交省による行政処分が予定されています。

されるということですが、処分の決定があるまでは船の運航は現状通り維持される見込みです。

東海汽船のH P上に7月31日付けで発表された文書によれば、船員の飲酒しての乗務、その際の替え玉受検、そして大型船での舷門（乗客の乗降口）未閉鎖での航行が行われ、業務停止も含む行政処分が検討されている段階です。

こうした事態に日本共産党大島町委員会と町議団では共産党都議団、国会議員団を通じて都と国に對して、要望書を提出しました。

都に對しては都議団大山・藤田両議員に對しては山添参議院議員を通じて行いました。

今後の日程的な見通しとしては、8月21日に運輸局による聴聞（聞き取り）があり、その後九月下旬を目途に東海汽船から「業務改善計画」の提出があり、これを受けて処分が決定

7月31日の報道以来、島内宿泊業者には予約客からのキャンセルが入り始め、観光への影響が止まるという事になれば、島民は通院等でも困難になり、生活

必需品も入らないというまさにいのちと暮らしに関わる重大問題となります。

国・都に對しての要望として、不祥事を考えれば東海汽船に對する一定程度の処分は当然であるが、島民のいのちと暮らしを守ることを保障してほしい、場合によれば国・都・東海汽船が責任をもって代替船の確保などを行ってほしいと訴えています。

今回の事件は島民にとつては驚き、困惑、そして憤りを感じさせるものですが、東海汽船にはこれを機に島のいのち綱として役割を再度認識し、真摯な反省・謝罪、業務改善を実行してほしいものです。

6月議会で共産党議員が行った一般質問のうち、山田議員の質問を紹介します。

1. 補聴器購入助成の実現を

山田忠敬議員

6月議会一般質問

の現況を

問 補聴器を使用している私には高齢者が耳が不自由になり、引きこもりや認知症を引き起こす要因になるということには、実感をもつて同感できます。

だから東京都でも令和6年度から「高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業」という形で

従来の高齢者支援事業から独立させて取り組むようになっています。各自自治



山田忠敬議員

に關すること

パソコンのメンテナンスの問題が生じているようです。インターネットがつながりにくい問題にも然るべき機関で調査し、対処していただきたい。

②校舎の雨漏り修理に關して

多くの学校で雨漏りが生じているようです。早急に改善を③校庭・グラウンドに關して

草刈りが先生方やPTAのボランティアに頼って行われている現状を何とかしてほしい。中学校のグラウンドの整備に關してどこも傷みが激しく、最大限整備していただきたい。

④暑さ対策に關して 児童・生徒の暑さ対策を講じていただきたい。特にエアコンが設置されていない体育館を何とかしていただきたい。

答弁 教育文化課長

インターネット環境については、業者によるネットワークアクセスメントという回線調査を実施し、必要に応じて機器や配線の見直しも行いあらためてネットワーク環境の調査を実施します。

次に、校舎の雨漏り等、施設の修繕については、順次対応していきます。

「校庭・グラウンドに關して」可能な範囲での支援を行うとともに、改善の方策について、関係部署との協議を重ねております。

「暑さ対策に關して」学校体育館の空調については、第一中学校への空調設置について、現時点で可能な対策として、スポットクーラーを活用するなど、暑さ対策に取り組まします。

大島文学・紀行散策は紙面の都合上休載させていただきます。